

令和2年度

# 学生によるオレンジリボン運動

## 群馬医療福祉大学 実施報告書



実施主体 社会福祉学部子ども専攻 2年生

実施内容 附属認定こども園および近隣駅での啓発活動

### ①事前に取り組んだ内容

社会福祉学部ということで、授業等において児童福祉や児童虐待に関する現状について日ごろから学習している。また、将来保育者を目指す者として保育園、幼稚園などのできる児童虐待防止策について考えてきた。活動を行うにあたっては群馬県の担当者に話を伺い、県内の現状など知識を深めた。

### ②実施期間に取り組んだ具体的内容

附属の認定こども園で啓発活動を行うにあたっては子どもにもオレンジリボン運動の趣旨が伝わるよう、手作りの紙芝居を作成し演じた。また、子ども達と一緒にオレンジリボンを作成し、保護者にも手作りのリーフレットを配布した。

さらに、大学近隣の駅で県から依頼されたオレンジリボン運動啓発のためのポケットティッシュと、手作りのオレンジリボン、独自に作成した資料を駅を利用する市民に手渡して配布した。また、自分たちの活動について学内で報告会を実施した。

### ③オレンジリボン運動を終えて…

自分たちで実際に運動を行う前は、ただその名前を知っているだけでした。しかし、本格的に運動に取り組むにあたり、オレンジリボン運動とは子どもの虐待防止の呼びかけだけではなく、子どもや子育てに優しい社会を作るための運動であることをみんなで学び知りました。

私たちはこども園や駅前で運動を行いました。駅前では、市民の方に活動内容を聞かれ、詳しい内容を直接お伝えすることもできました。自分たちの活動を通して子ども、その保護者、若者、高齢者など幅広い年代の方にオレンジリボン運動の存在を認知してもらうことができたのではないかと思います。また、活動を通し、子どもの健やかな成長のためには、保護者のみならず、地域、社会で育てていくことの大切さを実感しました。

学外で活動をする経験は貴重で、オレンジリボン運動の活動ができて本当に良かったです。



子ども達と一緒に  
オレンジリボン  
作り

手作りの啓発  
リーフレット



大学の最寄り駅で  
啓発のための資料  
とティッシュの  
配布